

(様式)

令和3年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学習意欲を向上させるためにグループワークを取り入れたところ、授業に積極的に参加する姿勢が見られ、多様な考え方を共有する意識が高まった。
- ・ICT機器やデジタル教科書を活用し、学びをより深めることができた。

(2) 課題

- ・習得した知識を、生活上の課題に応じて活用できる技能を身に付ける。
- ・ICT機器やタブレット端末を効果的に活用し、主体的に取り組める授業改善を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい生活を送るために必要な知識を習得し、理解した内容を作業にいかすことができるようにする。 ICT機器を効果的に活用し、知識・技能の定着を目指す。	生活の営みに係る見方・考え方を身近な生活にいかし、よりよい生活をしようとする思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	身近な生活の中の家庭科に関心を持ち、自らの生活を振り返る。 主体的・意欲的に学習しようとする態度を育成する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自立した生活を営むために必要な知識を習得し、理解した内容を作業にいかすことができるようにする。 ICT機器を効果的に活用し、安全にかつ効率よく作業できる技能の習得を目指す。	生活の営みに係る見方・考え方を身近な生活にいかし、将来にわたって自立した生活を営もうとする思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	身近な生活の中の家庭科に関心を持ち、自らの生活上の課題を振り返る。 主体的・意欲的に学習しようとする態度を育成する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会の抱える問題を解決するために必要な知識を習得し、理解した内容を作業にいかすことができるようにする。ICT機器を効果的に活用し、知識・技能の定着を目指す。	生活の営みに係る見方・考え方を身近な生活にいかし、これからの生活を展望して課題を解決する思考力・判断力を育成する。また、自分の考えを表現できる力を育成する。	身近な社会の中の家庭科に関心を持ち、社会の抱える問題を振り返る。 主体的・意欲的に学習しようとする態度を育成する。